井高 TIMES

令和2年度
第 4 号
岡山県立井原高等学校
令和2年9月25日発行

園芸科・家政科の卒業生による進路アドバイス

佐藤迅
園芸科卒業

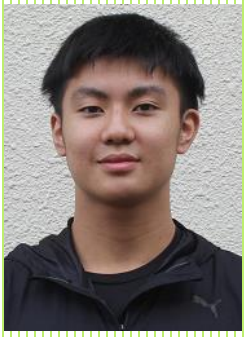
私は、入栄工業株式会社に勤めています。私が進路を決めた理由は、小さい頃からものづくりが好きで、ものづくりのできる企業に就職したいと思っていたからです。現在は、仮組部署に所属しており、鉄骨の梁にプレートを溶接でつける作業を行っています。組み立て作業をするにあたっては、図面を読めるようにならないといけない上、技術面では溶接を上手にしないといけません。少しでもプレートの寸法がずれていると製品検査に引っかかり不良品になるので組み立て作業といっても、とても細かい作業になります。私が作った梁が現場に運ばれ、完成された建築物をみたお客様が喜ばれているのを見るとやりがいを感じます。園芸科では、鉢上げなど細かい作業を何時間もやることで集中力や忍耐力も身につけることができたし、作業内容がわかってくると次に何をすればいいのかを考えて行っていたため判断力も身につきました。このことは仕事にも活かせることなので園芸科で学んだ三年間はとても有意義な時間でした。

植田奈那
家政科卒業

私は今、特別養護老人ホーム天神荘で勤務しています。進路を決めたきっかけは人とふれあい支えることの出来る職、人を笑顔にできる職に就きたいと思ったからです。現在職場にも慣れ毎日楽しく元気に働いています。できることが増え1人で任される時間も増えてきました。しかし、まだ覚えることはあり、忙しく大変だなと思うこともありますが、入居者様の笑顔やありがとうは励みになり力になります。私が目指す、入居者様に寄り添い安心して任せられる介護士になれるように、日々努力しています。

新型コロナの影響により、高齢者の方と直接関わる私たちはより緊張感を常に持ちマスク装着、アルコール消毒など徹底しています。

進路実現に向け面接練習では、自分の伝えたいことをしっかりとまとめ、いろいろな質問を想定し、多くの先生と練習しておく事がいいと学びました。皆さんも良い進路実現に向け頑張ってください。応援しています。



有田海音
園芸科卒業

私は倉敷芸術科学大学生命科学部健康科学科に進学しました。進路を決めたきっかけは、小さい頃からの夢である救急救命士になるための勉強ができることと、岡山で新しく男子新体操部ができた大学だからです。現在は救急救命士になるための基礎知識の勉強と、新しくできた男子新体操部の練習メニューなどこれからの活動に向けて監督と試行錯誤しています。

皆さんもこれからの進路決定に向けて不安になることがたくさんあると思います。私も高校三年生の時、大学受験前はとても不安でした。しかし、高校の先生が夜遅くまで面接練習をしてくださったり、相談に乗ってくださったりしたことで不安をなくすことができました。皆さんも不安を一人で抱え込まず、相談してみてください。そうすることで進路実現に一歩近づけると思います。私も応援しています。

三宅陽子
家政科卒業

私は中国学園大学現代生活学部人間栄養学科に進学しました。進路を決めたきっかけは、中学3年生の時、病院などで働く管理栄養士の方を見て、1人でも多くの人が笑顔で健康的に過ごせるようにサポートできる管理栄養士になりたいと思ったからです。

新型コロナウイルスの影響で対面授業ではなく、家庭での課題学習であったり、歓迎会などの行事が中止になったりと戸惑うこともありました。しかし現在では、授業がスタートし大学生活にも少しずつ慣れ、楽しく過ごしています。後期からはより専門的な内容が増えますが、頑張っていきたいと思います。

高校で学んだ専門的な知識や技術、また家庭クラブ活動で身につけた行動力や協調性が大学での授業や実習など多くの場面で役立っています。井原高校でしかできないことや資格取得など失敗を恐れずどんどん挑戦してみて下さい。自分の新たな可能性に気づくことができるかもしれません。応援しています。